

売れる米づくり技術情報No.4

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和7年6月27日
J A え ち ご 中 越
なんかん北営農センター

早生品種の穂肥時期が近づいてきました。幼穂長を確認して、 適期に適量の穂肥を施用しましょう！

1. 6月19日現在の水稲生育状況（なんかん北管内調査圃場平均）

- 指標値と比べて、コシヒカリは草丈並、茎数少なく、葉数並、葉色並という状況です。こしいぶきは草丈並、茎数少なく、葉数やや遅い、葉色は並という状況です。

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標
コシヒカリ	39.9	42.8	40	338.4	388.6	420	8.4	9.4	8.6	40.1	38.7	40.0
こしいぶき	38.6	40.9	38	359.6	397.0	460	8.6	9.6	9.2	43.6	40.6	41.5

2. 幼穂形成期・出穂期予想と穂肥施用のめやす

- 連休田植え、6月19日現在の予想です。出穂期予想は今後の気象により変動することがあります。
○ 1回目穂肥は遅れずに施用し、基肥一発肥料でも、葉色の低下がみられる場合は追肥を実施しましょう。

品 種	幼 穂 形成期	出穂期	穂肥 1 回目			穂肥 2 回目		
			施用時期	出穂前 日 数	窒素量 (kg/10a)	施用時期	出穂前 日 数	窒素量 (kg/10a)
ゆきん子舞	6/29	7/22	6/27～6/29	25～23	3.0	7/8	14	2.0
つきあかり	6/26	7/19	6/24～6/26	25～23	2.5	7/5	14	2.5
こしいぶき	7/1	7/24	7/1	23	1.0	7/10	14	1.5
新潟次郎	6/26	7/18	6/23～6/25	25～23	3.0	7/4	14	3.0
わたぼうし	6/25	7/19	6/27～6/29	22～20	1.0～1.5	7/7～7/9	12～10	1.0～1.5
五百万石	6/26	7/19	6/29	20	1.0～1.5	7/7	12	1.0～1.5

穂肥を多量に施用したり、時期が早すぎたりすると、籾数過剰や登熟歩合の低下等が起こるため、適期に適量を施用しましょう。

コシヒカリ・こがねもちの幼穂形成期、出穂期予想については次号でお伝えします。

◎品種・圃場ごとに生育差があるので **必ず幼穂長を確認して**

穂肥の施用時期を判断しましょう。

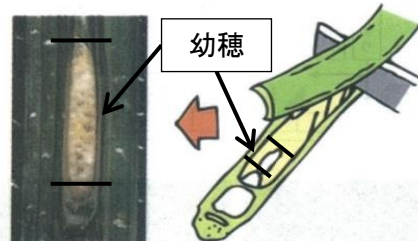
【幼穂長と出穂前日数の関係】

こしいぶき穂肥1回目のめやす

幼穂長(cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5～1.0	4.0～6.0
出穂前日数	30	24	23	20	18	12

【幼穂長の測り方】

- ①ほ場内の平均的な生育の稲を3株程度選ぶ。
- ②1株の中で、最も長い茎を株元から引き抜く。
- ③カッター等で茎を縦に割り、幼穂長を確認する。



3. 田面に小ヒビが入るまで中干しを継続しましょう。

- 中干し終了時期が幼穂形成期以降になると根域が縮小し、高温年では品質が低下する場合がありますので、中干し終了は遅くとも出穂期1か月前までに終了しましょう。
- 中干し終了以降は、間断かん水から徐々に飽水管理へ移行しましょう。根腐れの発生につながるので、長期間にわたる湛水は避けましょう。

4. 葉いもち防除の徹底と、斑点米カメムシ対策をお願いします。

- いもち病多発生地、わたぼうし、新之助等のいもち病に弱い品種では、圃場を見回り、いもち病の早期発見に努め、病斑を見つけ次第防除しましょう。※補植苗の取り残しも確認しましょう。
- 〈いもち病を発見したら、「ブラシン（粉剤DL，またはフロアブル）」を散布しましょう〉
- カメムシが増えにくい環境を作るために、雑草の種子が結実しない間隔で畦畔や農道等の草刈りを行いましょう。

【お問い合わせ先】 なんかん北営農センター米穀課 0256-47-1429



◆令和7年 病害虫防除剤等の使用方法と適用病害虫一覧◆

農業登録状況確認日:令和7年6月20日

《粒剤・豆つぶ剤散布の注意点》 散布前に確実に止水し、3cm程度(豆つぶ:3～5cm)湛水した状態で散布する。散布後は飽水管理を行い4～5日間は水を保ち、7日間は落水、かけ流しをしない。

防除対象病害虫	成分数	薬剤名	剤型	規格	使用量 (10a)	希釈倍数 (倍)	使用基準 (収穫前日数)	適用病害虫									上手な使い方・使用上の注意事項 等			
								いもち病	紋枯病	ごま葉枯病	稲こうじ病	墨黒穂病	変色米	カメムシ類	ウンカ類	ツマグロヨコバイ		ニカメイチュウ	イナゴ類	
カメムシ	1	スタークル ※こだわり米使用可	粉剤DL	3kg	3kg	—	7日前							○	○	○	○	○	斑点米カメムシの他各種害虫に高い効果。	
			粒剤	3kg		—							○	○	○	○		湛水状態(深い部分で3cm)で散布。出穂3日後～7日後までが散布の最適期。		
			液剤10	500ml	60～150L	1,000								○	○	○			稲の生育段階に合わせて薬液散布量を調整する。	
			豆つぶ	250g	250～500g	—								○	○	○			散布が簡単な豆つぶ剤。10a当り250～500gでウンカ類、ツマグロヨコバイにも効果あり。	
	1	エクシード	フロアブル	500ml	60～150L	2,000	7日前							○	○	○		○	新規系統のスルホキシイミン系殺虫剤。 斑点米カメムシ類に高い効果。	
			粉剤DL	3kg	3kg	—	7日前							○	○	○				
	1	キラップ	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前								○	○			○	フロアブルの希釈倍率はアカヒゲホソミドリカスミカメ以外のカメムシが多い場合は1,000倍が良い。 (農作物病害虫雑草防除指針より)
			フロアブル	500ml	60～200L	1,000～2,000	14日前								○	○			○	
	1	トレボン	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	7日前								○	○	○	○	○	10a当り3～4kg散布。
いもち病	2	ブラシン	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	7日前	○		○	○			○						いもち病の他、ごま葉枯病、変色米など穂枯れ性病害にも有効な総合殺菌剤。
			フロアブル	500ml	60～150L	1,000		○		○	○	○	○							
	1	トップジンM ※こだわり米使用可	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○												広範囲の病害に有効な殺菌剤。
			ゾル	500ml	60～150L	1,000	14日前	○	○		○	○	○							
	1	トライ	フロアブル	500ml	60～150L	1,000	14日前	○		○	○									新規化合物テブプロキンを配合。稲こうじ病にも登録がある。
	1	ゴウケツ	粒剤	3kg	3～4kg	—	出穂5日前 (収穫30日前)	○												新規系統のいもち病予防剤。出穂14～10日前が穂いもち対策での最適期。
パック			450g(45g×10)	10/パック	—	○													ゴウケツのパック剤。	
紋枯病	0	バリダシン ※こだわり米使用可	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前		○											病斑進展阻止効果が高い。病斑の進展を確認してから株元、葉鞘部に対してむらなく散布する。 成分カウント0
			液剤5	500ml	60～150L	1,000			○											
1	リンバー	粒剤	3kg	3～4kg	—	30日前		○												出穂25日～10日前頃が散布適期。散布時、3cm以上の湛水状態とし、3～4日間は水を保つ。
いもち病・紋枯病	2	ブラシンバリダ	フロアブル	500ml	60～150L	1,000	14日前	○	○	○			○							いもち病、紋枯病の他、穂枯れ性病害にも効果。出穂直前の防除で各種病害を同時防除。
いもち病・紋枯病・墨黒穂病	1	オリブライト	250G粒剤【豆つぶ】	250g	250g	—	45日前	○	○	○			○							葉いもち初発10日前～10日後が散布適期。湛水状態で均一に散布し、散布後4～5日間は水を保つ。
いもち病・稲こうじ病 白未熟粒の発生軽減	1	フジワン	粒剤	3kg	3～5kg	—	30日前	○			○									いもち病、稲こうじ病、登熟歩合向上。白未熟粒の発生軽減に効果。
			パック	750g(75g×10)	10～15/パック	—	14日前	○			○									
稲こうじ病 墨黒穂病	1	モンガリット	粒剤	3kg	3～4kg	—	30日前		○	○	○	○								出穂2～3週間前頃が散布適期。紋枯病にも有効。
	0	Zボルドー	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	出穂10日前				○	○								出穂10日前までに散布。出穂10日前～20日前が適期。成分カウント『ゼロ』、コシヒカリBLにも適用可。
いもち病 害虫	3	ブラシンキラップ	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○		○				○	○					ブラシンとキラップとの混合剤。病気と害虫を同時防除可能。
			フロアブル	500ml	60～150L	1,000	14日前	○						○	○					
	2	トライK	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○						○	○					トライとキラップとの混合剤。
			フロアブル	500ml	60～150L	1,000	14日前	○						○	○					
	2	トライトレボン	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○						○	○	○			トライとトレボンとの混合剤。	
	2	トライスタークル	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○						○	○	○			トライとスタークルとの混合剤。	
	3	ブレードスタークル	Rゾル	500ml	60～150L	1,000	7日前	○						○	○					いもちに定評のあるフェリムゾンとフサライドに殺虫剤スタークルを混合。
			粉剤DL	3kg	3～4kg	—		○						○	○	○				
2	ビームスタークル	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	7日前	○		○					○	○	○		○	10a当り4kg散布でいもち病、各種害虫の他、穂枯れ(ごま葉枯病菌)にも効果。	
いもち病 紋枯病 害虫	2	トップジンスタークル ※こだわり米使用可	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○	○					○	○	○				トップジンとスタークルとの混合剤。 病気と害虫を同時防除可能。
			フロアブル	1L	60～200L	500		○	○		○	○		○	○	○				
	3	ゴウケツモンスター	粒剤	3kg	3kg	—	出穂5日前 (収穫45日前)	○	○	○	○	○		○	○	○			ゴウケツとモンガリットとスタークルの混合剤。粒剤散布で病気と害虫を同時防除可能。	
	3	ビームバシスタークル	粉剤DL	3kg	3～4kg	—	14日前	○	○	○				○	○	○		○	10a当り4kg散布でいもち病、紋枯病、各種害虫の他、穂枯れ(ごま葉枯病菌)に効果。	

- 農薬を使用する際は、必ずラベルに記載の使用基準(適用作物、使用量、希釈倍率、使用回数、使用時期(収穫前使用日数))や注意事項を確認し、使用者が責任を持って使いましょう。
- 粉剤を散布する場合は、近隣の圃場や野菜畑・果樹園等に飛散しないよう注意して散布しましょう。
- 3割減減栽培の使用農薬成分数は12成分以内、こだわり米(5割減減)栽培は9成分以内です。農薬の成分数を確認し、上限を超えないように防除しましょう。